

一般社団法人 奈良県作業療法士会
平成25年度第4回理事会議事録

- 1 開催日時 平成25年8月21日(水) 午後7時から午後9時
- 2 会場 青丹学園 関西学研医療福祉学院 4階 4-2教室
- 3 理事現在数及び定数並びに出席理事数及びその氏名
理事現在数 12名 定足数 7名
出席理事数 9名
出席した理事の氏名 大松慶子・東條秀則・西井正樹・大西和弘・木納潤一・安井敦史・土井一輝
金星聡・毛利陽介
欠席した理事の氏名 松本裕二・前岡伸吾・北別府慎介
- 4 監事現在数及び出席監事氏名
監事現在数 2名
出席した監事の氏名 内川誠・中上裕隆
- 5 議長の氏名
大松慶子
- 7 議題
【審議事項】
 - 1 税理士予算について
 - 2 事務所の事務員について
 - 3 近畿地区交流会議題について
 - 4 在宅医療推進事業について【検討事項】
 - 1 認知症初期集中支援チーム 近畿圏県連チーム
 - 2 防災支援体制 災害リハビリテーション・コーディネーター研修会
 - 3 全国研修会 打ち合わせ及び下見について
 - 4 HP 役割分担について
 - 5 記念誌発行について
 - 6 郵送物(求人・研修会について)
 - 7 難病関連 OT 士会主催研修会 NEC 難病コミュニケーション支援講座開催について
 - 8 生活行為向上マネジメント研修会について
 - 9 「新しい認知症ケアで思いやりの輪を広げよう」
奈良県認知症ケア連絡会主催からの後援依頼について【報告事項】
 - 1 診療報酬改訂や医療制度について
 - 2 第11回協会・都道府県士会合同役職者研修会
 - 3 福祉用具相談支援システム
 - 4 日本プライマリ・ケア連合学会
 - 5 賛助会員規定、謝金規定、旅費規程について
 - 6 近畿学会受付について
 - 7 会員数
 - 8 事業部から活動報告

9 投稿規定について

10 南和ブロック会議について

8 理事会の議事の経過の要領及びその結果

(1) 定足数の確認など

冒頭で議長が定足数の充足を確認し、本会議の成立を宣した。

また、福祉用具支援システムについての報告の為、林朋一氏(奈良県総合リハビリテーションセンター)の出席を許可した。

(2) 議案の審議状況及び議決結果など

審議事項1 税理士予算について

毛利事務副局長から税理士予算を 50000 円から 157500 円に増額となる説明があった。

税理士への依頼業務として

- ・月次決算及び記帳代行業務(90000 円)
- ・年次決算業務(50000 円)
- ・年末調整業務(10000 円～)

であり、消費税を含む 157500 円となる。

審議の結果、承認された。

審議事項2 事務所の事務員について

毛利事務副局長から事務員の雇用について説明があった。

業務内容は会員名簿の作成・郵送物の管理・電話 fax の対応など

10月から週に1日8時間、時給900円となる。

人選については西井事務局長に一任する。

審議の結果、承認された。

審議事項3 近畿地区交流会議題について

東條副会長から、近畿地区交流会の議題について説明があった。

- ・バリアフリー展(大西理事)
- ・認知症初期集中支援チーム(東條副会長)
- ・福祉用具支援システム(林 OT)
- ・防災支援体制(東條副会長)
- ・生活行為向上マネジメント(西井事務局長)
- ・特別支援学校機能強化モデル(宮崎 OT)

以上についてプロジェクトチーム化をしていきたい。

()内は担当者でプロジェクトチームでの交通費は近畿連絡協議会で負担していく予定
討議の結果、承認された。

審議事項4 在宅医療推進事業について

東條副会長から在宅医療推進事業について説明があった。

地域リーダー研修会後の活動・アンケートについて討議した。

大和郡山市で医師会を中心に活動が行われる予定であり、これに毛利理事が参加し情報を共有していくこととなった。

検討事項1 認知症初期集中支援チームについて

東條副会長から認知症初期集中支援チームについて8月10日近畿圏で会合があり、その報告があった。

奈良県士会として今後委員会を立ち上げる意見が出された。

検討の次回2月に会合があり、情報収集をすることとなった。

検討事項2 防災支援体制 災害リハビリテーション・コーディネーター研修会について

大松会長から防災支援体制 災害リハビリテーション・コーディネーター研修会について説明があった。

平成26年3月1日 大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会主催

検討の結果、東條副会長に参加して頂くこととなった。

検討事項3 全国研修会 打ち合わせ及び下見について

西井事務局長から全国研修会 打ち合わせ及び下見について説明があった。

全国研修会 日程 平成26年12月6日7日

県士会として行うこととして、

- ・実行委員会の立ち上げ
- ・講演、市民公開講座の講師を決める。
- ・会場の管理（奈良県文化会館を使用）
参加人数は450～500を予定
予算380万円
- ・懇親会の運営(奈良国立博物館 レストランを使用予定)
参加費 5000円を予定
懇親会経費は次年度予算を計上する。
- ・今年開催愛媛会場へ視察 3名
- ・広告の募集

県士会として広告収入についてどの様に対応するか、税理士と相談する

大西事業部長から前日12月5日にナイトセミナーを企画予定の報告。

検討事項4 HP 役割分担について

西井事務局長からHP 役割分担について説明があった。

- ①HOME 西井事務局長
- ②会長挨拶 大松会長
- ③定款 中上監事
- ④役員・組織図 前岡保健福祉部長
- ⑤会員マップ 松本副会長
- ⑥入会案内 西井事務局長
- ⑦部局情報 それぞれの部局長が対応
- ⑧リンク 西井事務局長 賛助団体は毛利事務副局長

9月上旬までに原稿を西井事務局長へ提出

研修会案内はPDFのみで対応していく。

検討事項5 郵送物(求人・研修会)

西井事務局長から事務所に郵送される求人・研修会内容の取り扱いについて説明があった。

求人については、賛助会員の特典としている為、求人依頼の内容については、賛助会員となって頂くように勧めるとする。

研修会内容については、今後HPの管理運営上PDFの情報として送付された情報のみ掲載することとする。また取り扱いについてはHPに説明文を掲載しておくとした。

検討事項6 記念誌発行について

西井事務局長から記念誌発行について説明があった。

検討の結果、大松会長・安井学術部長が対応することとなった。

今年度は予算を計上していない為、印刷は来年度予算にて実施する。

検討事項7 難病関連 OT 士会主催研修会 NEC 難病コミュニケーション支援講座開催について

大西事業部長から難病関連 OT 士会主催研修会 NEC 難病コミュニケーション支援講座開催について説明があった。

小林 貴代先生を迎え、コミュニケーション器機を実際に体験・作成できる講座

平成 26 年 2 月 22 日 23 日もしくは 15 日 16 日開催予定。

検討事項8 生活行為向上マネジメント研修会について

西井事務局長から生活行為向上マネジメント研修会での報告・説明があった。

日本作業療法士協会は力を入れて活動しており、奈良県士会としても委員会を立ち上げ、まずは県士会への周知徹底の為に研修会を行っていくとのこと。

検討の結果、理事会直属の委員会として立ち上げることを承認した。

西井事務局長・北別府理事・山本 OT(秋津鴻池病院)を中心に活動し、今後はメンバー等を検討していくこととなった。

検討事項9 「新しい認知症ケアで思いやりの輪を広げよう」奈良県認知症ケア連絡会主催からの後援依頼について大松会長から説明があった。

検討の結果、後援することとなった。

報告事項1 診療報酬改訂や医療制度について

大松会長から奈良県保険医協会と診療報酬改訂や医療制度の情報を得る為の学習の機会などの依頼をしたとの報告があった。学習会の開催は困難だが、会報などの郵送や情報については担当者から聞くことは可能とのことであった。

報告事項2 第11回協会・都道府県士会合同役職者研修会

東條副会長・西井事務局長から第11回協会・都道府県士会合同役職者研修会についての報告があった。今後対応が必要なものとして

- ・認知症関連の委員会
- ・生活行為向上関係の委員会
- ・災害対策関連の委員会
- ・がんのリハビリテーションの動向 となった。

報告事項3 福祉用具相談支援システム

林朋一 OT から福祉用具相談支援システムについて報告があった。

Web 上における相談システムの構築を目的としており、「相談支援機能」と「情報提供機能」から成り立っている。今後の活動として広報活動を行っていくとのことであった。

報告事項4 日本プライマリ・ケア連合学会

東條副会長から日本プライマリ・ケア連合会 第27回近畿地方会へ座長としての参加の報告があった。

報告事項5 賛助会員規定、謝金規定、旅費規程について

松本副会長は諸事情により欠席であった為、賛助会員規定、謝金規定、旅費規程についてはメーリングリストにて意見交換をすることとなった。

報告事項6 近畿学会受付について

西井事務局長から近畿学会受付に前岡理事が参加の予定であったが、近畿学会実行委員会より前岡先生は座長の依頼があることから見送られたと報告があった。

報告事項7 会員数

会員数 296名 賛助会員 2社

報告事項8 事業部からの活動報告

大西事業部長から事業部の活動報告があった。

